2015年度以降のワッハ上方運営について

資料２

2014年7月28日　大阪アーツカウンシル

　大阪独自の文化である上方演芸を後世に伝えて行くことは大阪府の文化行政が担うべき役割の一つである。

　現時点では、その仕事は大阪府立上方演芸資料館（ワッハ上方）が果たすことが望ましい。

　ワッハ上方のミッション（使命）は「上方演芸の発祥から現在までの歴史を伝え続けていくこと」にある。具体的には、上方演芸の資料を収集し、研究者、芸人、演芸ファンなど幅広い人々が活用できる形で蓄積していくこと。

　ワッハがこのミッションを果たすために、大阪府には以下を求めたい。

▽資料館としての中長期的ビジョンを示す

▽資料を効果的に活用するために研究機関と連携のルールをつくる

▽資料をより多くの人に活用してもらえるよう、デジタル化を進める

▽収蔵資料を今に生かす事業も行う

　ワッハは当面は現在地で上記の使命を果たす。が、資料の蓄積、閲覧、研究により適した場所がある場合は移転を検討する。

　ワッハの使命は上方演芸に関する資料・情報の蓄積と継承であり、施設の保持や集客を増やすことは最終目的ではない。